

[目的]

メンタルヘルス分野における産業保健推進センターの役割について再考と提言を行うことで、高知県の企業メンタルヘルス対策に貢献する。

[方法]

- A) 職場メンタルヘルスの現状と産業保健推進センターの業務に関する資料の収集
- B) 事業場のメンタルヘルス対策と外部機関への要望に関する調査
- C) 企業におけるメンタルヘルス対策の好事例について

[結果]

- A) 職場メンタルヘルスの現状と産業保健推進センターの業務に関する資料の収集

- 1 わが国における職場のメンタルヘルスの現状
- 2 厚生労働省による職場メンタルヘルスクエア指針
- 3 高知県における職場メンタルヘルス対策の現状
- 4 高知産業保健推進センターの業務と取り組み

- B) 事業場の取組みと外部機関への要望に関する調査結果

- 1 メンタルヘルス対策の取組み内容

「従業員に対する教育」、「管理・監督者に対する教育・研修」、「メンタルヘルス相談窓口」、「メンタルヘルスに関する調査」の4項目が対策として高率に行われており、「休職者に対する職場復帰システム」「心の健康づくり計画を策定」「衛生委員会での審議調査」の3項目は低率であった。

- 2 メンタルヘルス対策における外部機関支援への要望

「対策の進め方についての相談」、「担当者等に対する研修会の実施」、「職場のメンタルヘルスに関する調査方法の紹介」が高率であり、「具体的な事例についての相談」は低率であった。

- C) メンタルヘルス対策における好事例についての取材

2次予防→3次予防→1次予防という企業のメンタルヘルス体制が確立した。

[結論]

本演習によりメンタルヘルス対策の重要性を再確認した。しかし高知県においてメンタルヘルスの重要性について、認識が不十分な事業所もまだ多いと考えられる。そこで産業保健推進センターの広報、啓発活動のさらなる強化が必要であり、効果的な啓発方法について模索し続けることが不可欠である。